



| | 項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 意見 |
|--------|---|------|-----------|-----|---|
| 環境体制整備 | 1 事業所の広さは十分で、活動のスペースは適切であるか | 100% | 0% | 0% | 十分だが広すぎて職員の目が届きにくい |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 100% | 0% | 0% | |
| | 3 事業所の設備等は安全の配慮が適切になされているか | 25% | 75% | 0% | 送迎時の出入りの動線が狭く夜は暗い。アコーディオンカーテンが簡単に開き裏や2階、外へ子どもが行きそうになる |
| 業務改善 | 4 業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 0% | 75% | 25% | 目標、振り返りについて上司とのやり取りが少ない |
| | 5 保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 0% | 25% | 75% | |
| | 6 この自己評価結果を、事業所のおたよりやホームページ等で公開しているか | 25% | 25% | 25% | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 0% | 25% | 75% | |
| | 8 職員の資質向上を行う為に、研修の機会を確保しているか | 25% | 50% | 0% | |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 50% | 50% | 0% | |
| | 10 子どもの適応行動の把握を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 25% | 75% | 0% | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 0% | 50% | 50% | 担当者が立案することが多い |

| | | | | | | |
|----------|----------------|--|--|------|-----|---------------------------|
| 適切な支援の提供 | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 50% | 25% | 25% | |
| | 13 | 平日休日長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか | 50% | 25% | 0% | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 50% | 50% | 0% | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 0% | 100% | 0% | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 0% | 100% | 0% | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 25% | 75% | 0% | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 50% | 50% | 0% | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 0% | 75% | 25% | |
| | 関係機関や保護者との連携関係 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 0% | 75% | 25% |
| 21 | | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 0% | 100% | 0% | 情報共有が足りないことが多い（学校予定、下校時刻） |
| 22 | | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか | 0% | 75% | 0% | |
| 23 | | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか | 0% | 50% | 50% | |
| 24 | | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容との情報を提供する等しているか | 0% | 50% | 25% | |
| 25 | | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 25% | 25% | 50% | |

| | | | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-----|------|------|--|
| や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか | 0% | 0% | 100% | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 0% | 0% | 75% | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの状態や発達について共通理解を持っているか | 75% | 25% | 0% | |
| | 29 | 保護者の問い応力の向上を図る観点から、保護者に対してのペアレントトレーニング等の支援を行っているか | 0% | 0% | 100% | |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | 30 | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 75% | 25% | 0% | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 0% | 100% | 0% | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか | 0% | 25% | 50% | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 25% | 75% | 0% | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 75% | 25% | 0% | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 75% | 25% | 0% | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 50% | 50% | 0% | |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 0% | 25% | 50% | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 25% | 50% | 25% | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 0% | 0% | 100% | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 0% | 50% | 50% | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体の拘束を行うことについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 25% | 0% | 50% | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 75% | 0% | 25% | |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 0% | 50% | 50% | | |